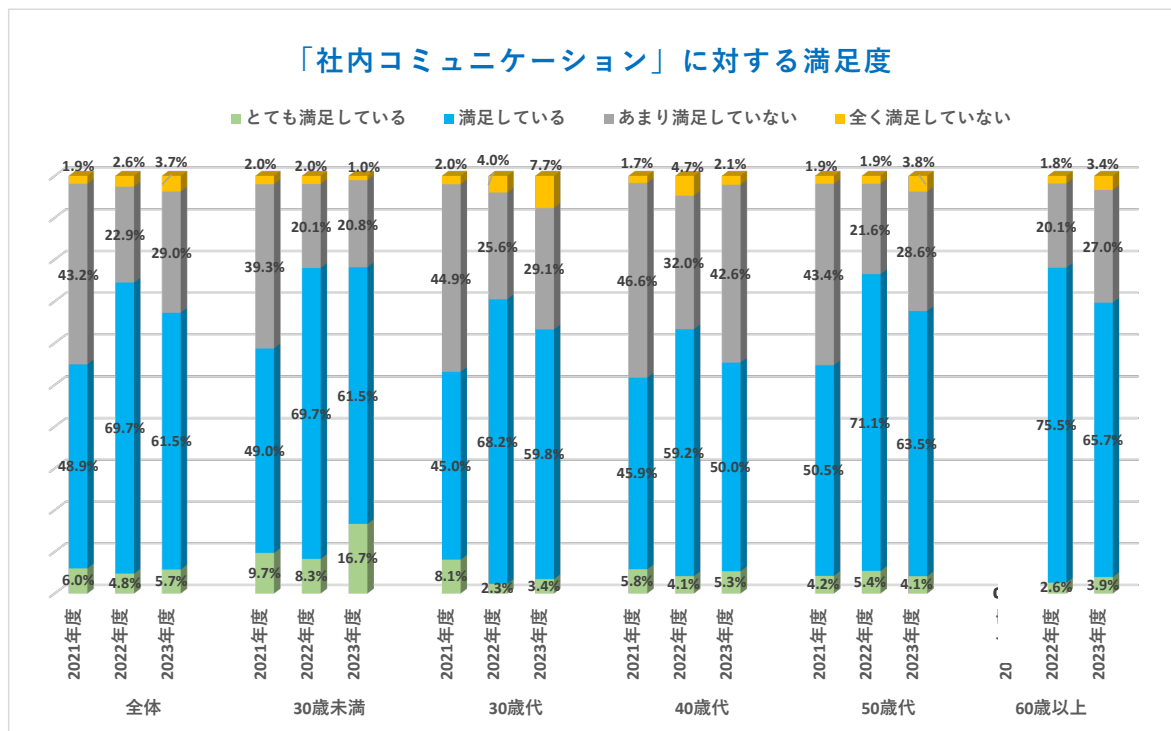


②「社内コミュニケーション」に対する満足度

◆『私は社内コミュニケーションの状況について満足している』従業員の割合～アンケート調査結果より

「社内コミュニケーションの活性化」は従業員の心身の健康に良い影響を与えることは言うまでもなく、社内コミュニケーションによって築かれる信頼関係は、生産性やモチベーションの向上に大きく繋がります。社内コミュニケーションは組織を運営していくうえで欠かせないものです。



		全体	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
満足している ・とても満足している ・満足している	2021年度	54.9%	58.7%	53.1%	51.7%	54.7%	—
	2022年度	74.5%	78.0%	70.5%	63.3%	76.5%	78.0%
	2023年度	67.2%	78.1%	63.2%	55.3%	67.7%	69.7%
満足していない ・あまり満足していない ・全く満足していない	2021年度	45.1%	41.3%	46.9%	48.3%	45.3%	—
	2022年度	25.5%	22.0%	29.5%	36.7%	23.5%	22.0%
	2023年度	32.8%	21.9%	36.8%	44.7%	32.3%	30.3%

※ 2022年度調査より年齢区分を「50歳以上」から「50歳代・60歳以上」に区分

当社は「社内コミュニケーションの充実」を経営方針として、社長自らがその大切さを随時発信するとともに、各年代層における段階的な「人間力研修」（初級～上級）を通じてコミュニケーション力の向上を図っています。現状の調査結果としては、過半数の従業員が「社内コミュニケーション」に満足している状況を示していますが、特に若きリーダーとしての役割を期待する30～40代従業員の満足度が他の年代に比べて低い状況もあり、すべての従業員がコミュニケーションの充実に意識し、行動するように、発信・研修の実施や機会創出等の施策を継続的に実施してまいります。